

富士山
まなびの森
20周年

台風による風倒被害を受けた富士山麓の森で
住友林業が復元活動を開始した富士山「まなびの森」プロジェクト。
今年で20年を迎え、これまでに延べ26,000人以上の方々*が参加し、
約30,000本のブナ・ケヤキ等の苗が植林され、現在は育林の段階です。
100年以上かかると言われる自然林復元への道はこれからも続きます——。

*住友林業グループの社員や関係者、地域の皆さまなどの多様なボランティア・環境学習に訪れた児童、生徒など

自然林再生の軌跡

大造林計画の系譜、富士山「まなびの森」の始まり、そしてこれから

VOL.3 未来への想い

100年先を見据えた自然林再生プロジェクト、富士山「まなびの森」。今後も活動を継続し、将来にわたり自然を守っていくには、「森づくり」の仲間を未来へと広げていかななくてはなりません。そのためには、ボランティアを通じ大勢の方々に活動内容を知っていただくこと、そして、未来を担う子どもたちの環境学習により、自然や木の素晴らしさを体感してもらう必要があります。

「まなびの森」を訪れ、自然にふれた方々や、森の大切さを学んだ子どもたちが、さらに次の世代へとバトンを受け渡す。そんな人の輪を大切に、これからも森を育てていきます。

ボランティア参加者の声

- 小学生の時に父親といっしょに苗木を植えました。その苗木が、20年の歳月を経て成長している姿を見ると感動します。将来、子どもができれば、この感動的な体験をさせてあげたいですね。
- 大自然の営みを考えると、私が関わる時間はほんのわずかですが、成長の一端に寄与でき嬉しいです。この活動を未来につなげていきたいです。

自然観察の様子

ボランティア参加者

環境学習支援プロジェクト

富士山「まなびの森」WEBサイト▶<http://sfc.jp/information/manabi/>



住友林業グループ
富士山まなびの森

2018年秋 ボランティア参加者